

テラス沼田トレーニングスペースの管理運営に係る対話型(サウンディング型)市場調査の結果概要について

テラス沼田に計画しているトレーニングスペースの設置にあたり、管理運営方法等について、対話型市場調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

1 経過

7月19日(水)	実施要項の公表
8月21日(月)～9月8日(金)	参加事業者の受付
9月21日(木)・27日(水)	対話型市場調査の実施(2事業者)

2 意見・提案の概要

(1) 運営方法(テナント、指定管理又は業務委託)について

①テナント

- ・市場規模が小さく、投資に対するリスクもあり、出店の可能性が低い
- ・公共施設内での運営は自由度が低い
- ・賃料・人件費が経営の負担となり、サービスの低下が考えられる

②指定管理

- ・行政は、事業者に対して、努力目標を設定することができる
- ・事業者は、努力目標達成に向けて、利用者の目線に立った運営を行うことができる
- ・事業者は、一定の経営リスクを負うが、企業の持つノウハウを生かすことができる
- ・事業者は、市と連携した事業を展開することができる

③業務委託

- ・事業者は、一定の収入(委託料)を確保できるため、安定した経営が可能となる
- ・仕様に合わせた業務内容となり、事業拡大の可能性が低い

(2) 契約期間について

①短期(1～4年)

- ・事業者の不正を抑止・防止しやすい
- ・事業者は、積極的な投資や運営を行いにくく、特長を十分に発揮することができない

②中・長期(5年以上)

- ・行政・事業者ともに、安定した運営が見込める
- ・計画的な事業展開が可能となるため、積極的な投資をしやすい
- ・事業者の特長を効果的に発揮することができる
- ・導入時3年、以後5年ごとに更新する事例が多い
- ・7年あるいは10年の契約期間とする事例もある

- ・長期(10~20年)などの場合、期間を定めて見直しを行うのが一般的である
- ・指定管理者がトレーニング機器を持ち込む仕様が、昨今多くなってきている。指定管理者の期間内でリースを組み、また、指定管理者の運営が十分発揮できる機器の選定ができるためである

(3) 利用時間及び料金について

①利用時間について

- ・公共施設内では、午前9時から午後9時までとしている事例が多い
- ・利用状況により、午前8時にオープンし、自由にウォーミングアップやストレッチができる場所を提供することも考えられる

②利用料金について

- ・定期利用(1か月や半年など)を基本とすることで、利用者に対して運動継続を促進する効果がある
- ・各種教室は別料金にすることも考えられる

(4) 設備について

- ・従来のスポーツジムと比べ、面積は少ないが、一定の規模は有している
- ・施設内の通路幅は、150センチメートル以上確保したい
- ・ロッカールーム・シャワー室は、スタジオプログラム終了直後に混み合うことが予想されるので、仕様や規模等についての配慮が必要である
- ・他の施設と共同で利用できるトイレがあるため、ロッカールーム内のトイレをシャワーに変更することも可能である

(5) マシン設置、メンテナンス・更新について

- ・一般的に、トレーニング機器は7~8年の使用が限界である。それを超えると部品供給がなくなる
- ・「健康づくり・生きがいつくり」を目的として、有酸素系、循環機能向上を目的とするトレーニング機器を設置し、日常生活で必要となる筋力・持久力の向上を目指すプログラム構成が適している
- ・トレーニング機器は、操作方法や機能も様々であり、機器の選定には配慮が必要である

(6) スタジオプログラムについて

- ・幅広い年齢層が集う施設になるため、子どもから高齢者まで、多種多様なプログラムを提供し、習慣的な利用による運動の継続と提供が可能となる

(7) 人材確保について

- ・責任者を配置し、その他のスタッフは、地元雇用が可能である
- ・スタッフの研修を実施して、サービス提供の質を高める必要がある

(8) 介護予防スタジオ(同一フロア)など他機能の一括管理又は連携について

- ・介護予防スタジオと軽運動スタジオが別に計画されているが、トレーニングスペースと一体的な利用が望ましい

- ・介護予防スタジオと軽運動スタジオは、トレーニングスペースと類似のサービスを提供する施設であるため、人員効率、コスト面、運営面などからみて一括で管理した方が良い

(9) 市庁舎や市民活動施設など、他の施設・機能との調和について

- ・各施設との連携により「健康づくり・生きがいくくり施設」として位置づけることができる

(10) 中心市街地活性化への貢献について

- ・テラス沼田が持つ複合施設としての特性を生かして、健康づくり・スポーツを通じて、さまざまな世代の交流が可能である

(11) 周辺施設・他の団体との連携の可能性について

- ・教育機関との連携により、職場体験学習の受け入れが可能である
- ・福祉施策・関係機関と連携して、健康長寿社会の実現を目指し、事業を実施することが可能である

(12) その他

- ・SNSを活用した情報発信

3 今後の予定

今回の対話型市場調査により、参加事業者からいただいたご意見やご提案を参考として、テラス沼田トレーニングスペースの管理運営方法を検討してまいります。